

町の人口（11月末）

・総人口	15,942人
男	7,662人
女	8,280人
・世帯数	3,993世帯
・転入36人・転出35人	
・出生7人・死亡9人	

町の花・ツツジ



（11月22日 波中文化祭から）

町を見る！

波佐見中学校（谷山健治校長866人）では、11月22日文化祭を開催。「世界と人類」をテーマに生徒たちが中心に企画運営。「創ろう21世紀の文化」をスローガンに掲げ、合唱、演劇などのステージ発表のほか、各学級、各クラブが休み時間、放課後を利用して創り上げた作品展も行われました。

BIGな地球儀、21世紀の地球、世界地図、2001年未来の旅など、作品会場は、アイデアに富んだユニークな作品ばかりで夢いっぱい。

2年7組（坂本淳子教諭39人）では「世界に翔た^{はば}く波佐見」と題して、紙粘土による波佐見地図を製作。

起伏のある山々、町の中央を流れる波佐見川、卵の殻を小さく砕いて貼り合わせたと黄金色の田園地帯。1万分の1で見る波佐見町。共同製作の喜びと町へのさまざまな想いが広がります。

「波中生徒の心意気、町の未来の夢をよぶ」といった文化祭でした。

やきもの・農業・温泉・文化財・etc

どう展開する

わが町の観光開発

行ってみたい、体験してみたい、暮らしてみたい——そんな魅力ある町づくり「観光の町・波佐見」を目指そうと、今、町では観光協会設立へ向けて着々動き出しています。

やきもの、農業、温泉、文化財と恵まれた産業と自然環境の中で、今後本町の観光施設や資源の開発など、どう展開すべきか。
今月号は「町の観光」について考えてみたいと思います。

事業の

推進母体

◆設立の目的◆

社会経済の発展に伴い、私達の生活意識は物の豊かさから心の豊かさを求めるようになり、余暇を楽しむためレジャー・観光への関心が益々高まりつつあります。

このような中、本町は特産品の「やきもの」、豊かな「農産物」、田園にたたずむ「波佐見温泉」、古窯などの「文化財」と、恵まれた産業と自然環境があり、「観光の町」への可能性を十分秘めています。

近年本町周辺には、西九州自動車道武雄佐世保道路や九州横断自動車道など、道路交通体系の整備拡充が着々と進み、これに伴う針尾・ハウステンボス、有田・VOC、嬉

波佐見町
観光協会

野・日本村など、大型観光施設の構想が次々と発表されています。

このような中で本町においても、観光施設の整備充実や観光資源の有機的使用を行い、魅力ある観光地づくりのための取り組みが必要であり、それに向けた受入体制づくりが重要な課題であります。

そこで観光情報の収集、町の特性を活かした魅力ある町づくりと宣伝活動、観光資源と特産品（窯業、農業）の掘りおこし、観光施設の整備促進と観光客の誘致など、関係諸団体と連携を図りながら町の活性化のため、諸事業の推進母体となるべく同協会が設立されるものです。

736口・357人加入

～1月に設立総会～

以上のようなことを趣旨として、設立発起人会（中尾千歳代表20人）では、今年八月から町観光協会設立趣意書を町内の各世帯に配布し、1口3,000円の同協会加入をお願いしてきたところであります。

11月末までの集計によれば、736口、357人の方々が既に同協会へ加入されており、発起人会では来年1月に設立総会を開くべく現在諸準備にかかっているところです。



波佐見町観光協会設立に向けて

農工一体

めざせ 体験型観光

〈観光と振興〉

＝基本計画から＝

▼現状と課題

町では今年四月に第四次基本計画（六十三年～六十七年の五カ年計画）を策定、その中の「観光の振興」現状と課題で次のように掲げています。

「本町には海がなく、また鉄道も通っていないことなどから、観光地としての知名度が低く、観光開発も進んでいない。良質の温泉を有する波佐見温泉のほかに、畑ノ原窯跡

などの遺跡や県町指定の文化財などが町内各所に点散しているが、観光施設としての整備が十分でなく、観光客誘引の役割を果たしていない。しかしながら近年は、参加・体験型の観光へと変化の傾向にあり、観光客自らのやきものづくり、絵付け、工場見学など、陶芸の館を訪れる観光客は年を追って増加し、好評を得ている。このようなことから、本町の地場産業である「やきもの」を観光資源として活かした特異性のある観光地づくりが必要であり、関係施設の整備を急がなければ



ならない。また、基盤整備の進んだ水田と、山間に広がるみかん、梨などの果樹園、茶園などの観光農園としての可能性を秘めており、農工一体となった観光開発が今後の大きな課題である。」

▼基本方針

これに對し今後の基本方針として、「やきものと温泉をメインとし、さらに町内に点在している遺跡、文化財、景勝地を有機的に結んだ観光ルートを開発、魅力ある観光地づくりを推進し、新たな観光客層の発掘と滞在型観光地開発に取り組み、地域の活性化を

図る。なお、観光農園、みやげ品の開発についても可能性を探り研究を進める」としています。さらに計画の中で、やきもの公園、陶芸の里、波佐見温泉周辺、保養施設の誘致などの施設の整備充実。西九州自動車道の六十五年全面開通に向けた、町の案内施設と観光宣伝、特産品のPR。さらに観光協会設立に努力する。としています。

町では以上のようなことを基本として、町の観光行政を推進していくことにしています。本町ならではのユニークな観光地づくりを目指すためには町民が一丸となって取

る。町では以上のようなことを基本として、町の観光行政を推進していくことにしています。本町ならではのユニークな観光地づくりを目指すためには町民が一丸となって取

り組んでいかなければ「観光の町波佐見」へは近づくことはできません。

「やきもの」を核に 具体的展開を

先に県地域経営センターが発表した「九州横断自動車道及び西九州自動車道が東彼杵郡の産業等に及ぼす影響調査」の中でも本町の観光のあり方などについて指摘されています。その一部を紹介すると「波佐見町における観光客の推移をみると、陶器祭りに毎年約5万人の観光客が訪れ、また陶芸の館は59年に開館したが、その年には7,568人、60年に17,984人、61年には16,840人、62年には約17,000人の入館者があった。それぞれかなりの観光客を見込めるとはいえ、現状では飛躍的な増加を期待できない。観光地としての知名度は低く、観光施設としての整備も十分とはいえない。また、やきものの町といっても陶芸の館以外に観光の目玉となるものがほとんどない状況だ。しかし、西九州自動車道の開通（インターチェンジ設置）に伴い本町は東彼杵町とともに、本県の「陸の玄関口」として一躍脚光を浴び交通量が増大するであろう。やきものの流通拠点としてPRする絶好の機会である。やきものを核とした長期滞在型の「つくる観光」や「波佐見温泉の活用」など、この町が単なる通過点にならないよう具体的展開が望まれる」と提言しています。

観光客数の推移

	波佐見町	東彼杵郡 (3町合計)	長崎県
昭和53年	109,638人 (93.7)	368,494人 (86.3)	20,548,752人 (100.0)
55	116,975 (100.0)	426,947 (100.0)	20,566,653 (100.0)
57	119,234 (101.9)	496,156 (116.2)	19,641,279 (95.5)
59	121,960 (104.3)	535,676 (125.5)	21,087,112 (102.6)
60	133,254 (113.9)	548,699 (128.5)	21,442,155 (104.3)
61	139,201 (119.0)	582,454 (136.4)	22,380,061 (108.9)
62	143,545 (122.7)	569,829 (113.5)	22,922,918 (111.7)

注) () 内の数字は昭和55年の観光客数を100.0とした時の各年の指数である。

(資料) 『長崎県統計年報』

昭和63年12月号



3月に開かれた
「バイクも走るロードレース」

百九十九自動車道武雄佐世保道路

長崎県



▲ふくよかな味と香りの「はさみ茶」

佐賀県武雄市



▲郷土の酒

棚町

素晴らしい環境があり、素晴らしい品があります。そして長い歴史と伝承が生きついています。波佐見町観光協会「誕生を迎えよう」といふ今、私達は、新たな観光の町つ出发点として位置づけ、町の風土、を振りかえりながら、行ってみたい、そして、暮らしてみたい——そんな人々がふれあう、ホットな町・波佐見を目指すため、一つ一つ掘りおこし、そして、地域で、町ぐるみでしっかり語っていききたいものです。



▲金屋神社の横にそびえる猿岩

はさみよかとこ
見どろ味どろ

渡佐見・有田
イニグ・キニグ

▲野鳥の飛来

よかー 味どーろ

佐賀県有田町

波佐見・有田
インターチェンジ

波佐見温泉

波佐見神社

町営湯

(宿)

(田の頭)

(川内)

(メロン)

(岳辺田)

波佐見神社

(平野)

米

(志折)

協和温泉

協和温泉

(乙長野)

湯の樂公園

(甲長野)

(協和)

波佐見温泉

(柳木場)

富士治助
タタの墓

(山山)

山々形浄瑠璃

煙の原竈跡

波佐見・有田
インターチェンジ



しかし普段、何げなく暮らしている中で、じっとこの町を見渡せば、他の町に

観光は まず歴史から



金屋郷
団 和枝

波佐見は何と言っても「やきもの」で発展してきたと思うんです。長い歴史の中で培われてきた波佐見焼。町の観光はまず町の歴史、やきものの歴史をしっかりと学ぶことではないでしょうか。歴史を知り、新たな郷土愛が生まれる。そのためには町ぐるみで「やきもの愛着運動」といったものを積極的に展開すべきだと考えます。59年にオープンした陶芸の館。見学者は町外の人が多いようです。町の歴史を無にしないためにも、町にPR方法を練ってほしいし、私達町民がもっと活用すべきだと思います。

小さい頃から「やきものの町に住んでいるんだ」といった実感のある町づくり。そのためには家庭、地域でやきものへの関心をもっと高めるような工夫が今必要ではないでしょうか。

この町には素晴らしいやきものの歴史があります。慶長年間から今日まで、何千何万という人々の手から手へと伝承された素晴らしい技(財産)があります。歴史を生かす観光の町波佐見を期待しています。

インタビュー ひとこと 観光に

産地らしさを 生かして



湯無田郷
今井 泰照

町内を案内するところといえば陶芸の館。ここでは波佐見焼の歴史など一通り学ぶことができますが、実際にやきものを製造している姿が見えません。そこで近辺の窯元へ案内し生の波佐見焼を見てもらっている状況です。しかし、日曜日の場合、窯元は休みで案内することができません。

私は、同館に常時見学できる製造コーナーがあればと思っています。確かに写真、パネルなどで紹介してありますが、生の状況を見てこそ、産地らしさが伝わるのではないのでしょうか。町内には素晴らしい技法を持ちながら、窯元などを退職された方々がたくさんいます。この方々に同館で働いていただき、波佐見焼PRに一役買ってもらいたいと考えています。

ところで、先月20日には、陶山神社改修を記念して、相撲大会やちゃんわん供養などが行われました。やきもので生活している私達にとって、伝統の大切さ、感謝の心を改めて痛感しました。

一日のんびり楽しめるような施設づくり、そして参加・体験「波佐見の町へまた行こう」と言われるような、やきもの産地らしい観光の町を期待しています。

野中宏則君

(波中一年)ら

二十一人が入賞

税に関する標語・作文

税のしくみや使われ方、納税についての正しい理解を深めるため、波佐見町租税教育推進協議会では、町内小学生の税に関する「習字」作品募集(十月号に入賞者紹介)に続き、中学生を対象にした「税の標語」と、高校生を対象にした「税の作文」を募集しました。

○税の標語

▼波佐見町租税教育推進協議会長賞(十四人)

納税は国民みんなの役目です

一年 野中 宏則

税金で明るく住みよい町づくり

三年 山脇 謙一

税金はあなたの身近で役に立つ

二年 坂本 牧歌

税は社会と家庭の橋わたし

一年 藤 達也

納税は未来を築く第一歩

三年 平尾 和久

納税はみんなが守る大事なルール

三年 小林 正史

納税が生み出す我らの豊かな国土

三年 今里 拓

納税は社会と家庭の橋わたし

一年 田崎真紀子

税金はみんなのまわりで生きてます

二年 古川いづみ

町づくり一人一人の納税で

向けてみよう税に未来に君の目を

一年 岡崎江里子

見つめよう正しい納税明るい社会

一年 尾塚 紀子

納税はこの道この橋この学校

三年 川口恭須彦

税金を納めてきこう明るい社会

二年 中尾 信行

税金はみんなのまわりで生きてます

二年 古川いづみ

町づくり一人一人の納税で

一年 田崎真紀子

納税は社会と家庭の橋わたし

一年 藤 達也

するなさせるな脱税を

三年 平尾 和久

納税は未来を築く第一歩

三年 小林 正史

納税はみんなが守る大事なルール

三年 今里 拓

納税が生み出す我らの豊かな国土

三年 石橋 昌子

▼佐世保税務署長賞(三人)

税金で明るい未来の町づくり

三年 多田 利美

納税でしあわせいっぱい夢いっぱい

二年 古田 大吾

見つめよう身近な税のありがたさ

一年 長與健一郎

○税の作文

町租税教育推進協議会長賞

波佐見高校三年 口石高史

「税の話聞いて」

同 三年 外尾加代子

「税金についての感想」

同 三年 山口美由紀

「税金について」

佐世保税務署長賞

波佐見高校三年 柳瀬千恵子

「税金について」

退任のあいさつ

町の発展を祈って

前収入役

山下 鐵夫



私、十月三十一日付をもちまして、波佐見町収入役を任期半ばで、大変ご迷惑をかけましたが退任いたしました。顧りみますと私、昭和十六年九月、上波佐見町職員として奉職以来今日まで四十七年間、そのうち昭和五十四年から収入役として、町行政事務にたずさわって参りましたが、なかでも、戦中、戦後のあの世相混乱のなか、幾多の苦難を

耐え忍び、町民皆様と共に努力して参りましたが、今は本当になつかしい想い出として走馬燈の如く思い浮かび、感慨無量で胸がいっぱいでございます。唯、残念に思うことは何一つとして皆様のご期待に添い得なかったということでございますが、しかし町民皆様のあたたかいご指導とご支援により、お陰様で大過なく職務を全うすることができました。

ここに深く感謝し、心から厚くお礼申し上げる次第でございます。本町町勢振興に当たりましては町民皆様の限らない協力・高配により発展を続けておりますが、これからますます複雑多様化して参ります町行政に対し皆様方のより以上のご後援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。私も今後一町民として郷土

の発展のため微力を尽くしたいと存じております。何卒今まで同様ご指導、ご交誼を賜りますようお願いいたします。末筆になりましたが町民皆様の限らないご健勝、ご多幸と併せて本町の発展を心から祈念いたします。長い間大変お世話様になりました。意を盡くせませんが退任のあいさつといたします。

思いやる心
大切に



▼寿詞

田中幾代(宿郷)
辻キヨ(岳辺田郷)



全国各種

表彰披露

▼農林水産大臣賞(県茶業大会)

久保田 芬(野々川郷)

▼全国体育指導委員連合会長
表彰

古川 一矩(湯無田郷)

▼第二十回日本美術展覧会入
選

小村錦四郎(湯無田郷)

県民表彰

産業功労に

奥川正保さん

十一月二十三日、県民表彰式が県庁で行われ、井石郷の奥川正保さんが、産業功労者として表彰され、高田知事から表彰状と記念品が手渡されました。

上位独占・産地賞に輝く

——第十九回県茶業大会——

第十九回県茶業、「園芸一千億」推進大会が十一月七日、島原市文化会館で開かれ、県内各地から集まった約四百人の茶生産関係者たちが、今後の生産技術の向上と経営改善を図ろうと誓い合いました。

開会式では今年度の茶品評会の表彰が行われ、むし製玉緑茶の部と釜いり製玉緑茶の二部門に本町生産農家(野々川郷)が上位を独占、見事産地賞を獲得しました。

▼むし製玉緑茶の部
優等〓久保田芬、同〓久

保田和昭、一等〓石本俊幸、同〓太田正和、二等〓野川政春、同〓太田美栄子
▼釜いり製玉緑茶の部
優等〓野澤義典、二等〓太田元

▼産地賞〓波佐見町

▼特別賞(農林水産大臣賞)
〓久保田芬、同(県知事賞)
〓久保和昭、同(県経済連合会長賞)
〓野澤義典

なお、来年度の茶業大会は本町で開催されます。二年連続上位独占を期待したいと思います。

新たな決意

明るい社会づくり意見発表大会

第五回明るい社会づくり運動・意見発表大会が十一月十九日、勤労者体育センターで開かれました。今回は小学生から中学・高校・青年・婦人・老人の順に十三人の代表が発表。環境美化、友達や家族の大切さ、あいさつの徹底をなど、それぞれの体験の中から、明るい社会づくりへの決意が述べられました。中には、「ひとひらの陶石」と題した波佐見高校生のやきもの研究を通じた意見を出されるなど、波佐見ならではの発表会となりました。

会場には約百五十人が出席し、それぞれの素晴らし

い発表ぶりに盛んな拍手が送られていました。

ファイナレでは、波佐見高校アラスバンド部の演奏が行われ、大会に花を添えました。

発表者は次のとおりです。

(敬称略)

▼松永浩文(南小六年)「よごれてる海」▼松尾祥子(南小六年)「本

の明るい社会」▼

松井孝臣(中小六年)「親切と奉仕」

▼平尾栄子(中小六年)「友達が気付かせてくれたこと」▼友廣健(東小六年)「児童会長として思うこと」

▼島尾珠美(東小六年)「ボランティアで明るい町づくり」▼川崎栄治(波

中三年)「あなたへの言葉」

▼広瀬まり子(波中二年)

「美しい街をめざして」▼今里治彦(波高)「ひとひらの陶石より」▼井田隆博(波

高)「有難うたいへんだったね」▼森山弘文(青年団)

「青年活動について」▼安弘チツ子(婦人会)「音楽で

うるおいのある町づくり」

▼山下藤雄(老人会)「家庭」



昭和63年12月号

町の家計簿を お知らせします

町の財政状況は依然として厳しい状況ですが、町道整備事業、やきもの公園などを始め産業廃棄物埋場建設など諸事業を計画、その他の事業についても出来る限り予算に計上し、その実施を図っております（当初予算の内容については5月号広報紙に掲載いたしております）。

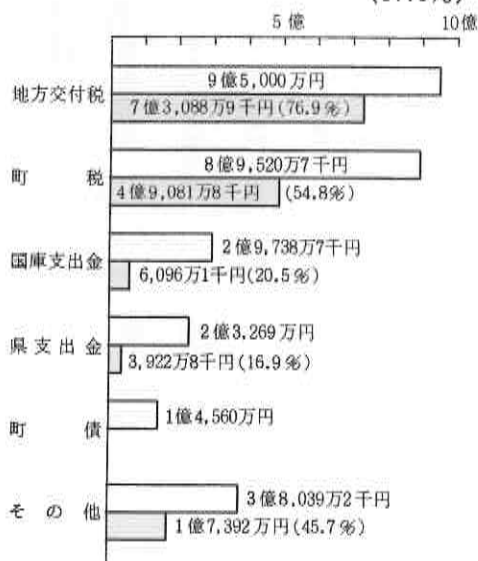
一般会計の歳入は、収入済額14億9,581万6千円、収入率51.6%で、主なものは地方交付税7億3,088万9千円、町税4億9,081万8千円となっています。歳出は、支出済額9億8,633万9千円、執行率34%で、経常的な経費は概ね50%の支出となっていますが、建設事業費が多い土木費や農林業費は執行が下半期に多くなるため、率が低くなっています。

一般会計

<予算現額 29億127万6千円>

予算現額
執行済額

◆歳入 収入済額 14億9,581万6千円
(51.6%)

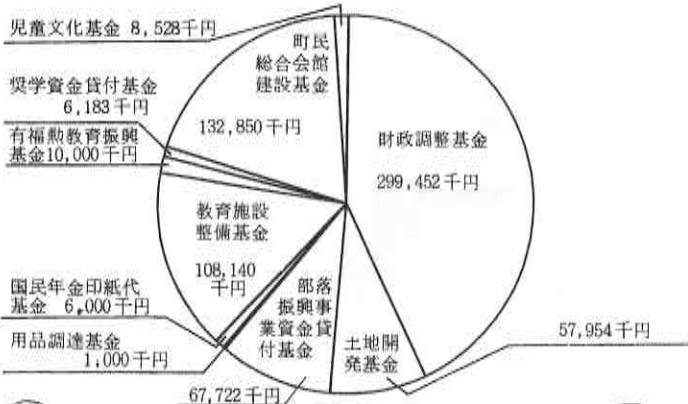


◆歳出 支出済額 9億8,633万9千円
(34.0%)



町の借入金（町債現在高）(単位千円)

起債名	62年度末現在
一般公共事業債	39,010
一般単独事業債	714,828
公営住宅建設事業債	205,791
義務教育施設整備事業債	474,481
災害復旧事業債	51,429
厚生福祉施設整備事業債	9,588
公共用地先行取得事業債	13,530
臨時財政特例債	8,800
財源対策債	224,401
調整債	51,700
県貸付金	79,350
公有林整備事業債	36,259
特定資金公共事業債	44,400
合計	1,953,567



町のおもな財産

<町の土地>

▼現在、町所有の土地は、学校、公園、町有林など全体で約2,133,879㎡となっています。

<町の建物>

▼町有の建物は学校17,673㎡、公営住宅13,299㎡、役場1,762㎡、陶芸の館1,696㎡、勤労者体育センター1,501㎡など全体で43,185㎡となっています。

63年度上半期執行状況

企業会計

特別会計

民間の会社のように、その事業の収入で支出を賄う「独立採算」の事業です。下表の中の「収益的収支」は人件費や物件費など毎年必要な経費、「資本的収支」は建設や機器購入などに必要な経費のことです。

国民健康保険のように特定の人たちの相互扶助を目的とした事業や、簡易水道のように限られた人たちが利益を受ける事業は、原則として利益を受ける人たちが負担するお金で運営するため、一般会計とは別の「特別会計」になっています。

企業会計

(単位千円)

区 分	予算額	執行額 (率)
収益的収支		
収入	255,360	106,491 (41.7%)
(営業)	190,850	102,563 (53.7%)
(営業外)	64,510	3,928 (6.1%)
支出	258,840	98,393 (38.0%)
(営業)	145,064	44,533 (30.7%)
(営業外)	113,776	53,860 (47.3%)
資本的収支		
収入	9,100	0 (0.0%)
(工事負担金)	9,100	0 (0.0%)
支出	91,584	53,370 (58.3%)
(建設改良)	58,344	37,028 (63.5%)
(企業債償還金)	33,240	16,342 (49.2%)

特別会計

(単位千円)

会計名	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険事業	1,063,387	596,461 (56.1%)	533,685 (50.2%)
老人保健	781,315	482,512 (61.8%)	474,429 (60.7%)
簡易水道事業	1,620	821 (50.7%)	727 (44.9%)

上水道事業、簡易水道事業の業務量

昭和63年9月末

事項	上水道事業	簡易水道事業	合計
給水人口	14,633人	610人	15,243人
給水戸数	3,593戸	179戸	3,772戸
有収水量 (売上げ水量)	460,718m³	18,299m³	479,017m³

民間の会社のように、その事業の収入で支出を賄う「独立採算」の事業です。下表の中の「収益的収支」は人件費や物件費など毎年必要な経費、「資本的収支」は建設や機器購入などに必要な経費のことです。



協力隊活動の最大の特徴はボランティア精神に支えられていることです。各国に派遣された隊員は、現地の人々と同じ言葉を話し、食・住の生活をともにしながら、彼らの自助努力を促し、国づくりに協力しています。『現地の人々と一体になつて』という民衆志向は、協力隊の気風として、しっかりと根づいてきています。協力隊員が派遣されるのは、日本政府との間に「派遣取極」という国際的な約束を結んでいる国で、開発途上国ならどこでも、というわけではありません。しかし、これまでの実績は受け入れ国から高く

ボランティア精神に 支えられる青年海外協力隊

協力隊への応募者数も、ここ数年かなりの伸びをみせています。国際協力隊、まさに先兵ともいえる協力隊への期待は、国の内外からますます高くなっています。

開 発途上国の「国づくり」の「人づくり」に若者たちの技術を役立てる青年海外協力隊の事業が始まったのは、昭和四十年四月のことです。それから二十三年、協力隊員が派遣された国は世界四十一カ国、隊員数は延べ八千三百人にのびります。

この中には、第一次産業の開発に従事する隊員のほか、日本語教師や理数科教師、考古学や経済学を専攻した人たちが派遣される仕事もあります。国の基盤を作る人づくりに貢献することもまた、広い意味での技術協力なのです。



評価され、新たに隊員の派遣を希望する国も増えています。

隊 員の職種は、実にさまざまです。大別すると、①農林水産、②加工、③保守操作、④土木建築、⑤保健衛生、⑥教育文化、⑦スポーツの七部門に分類できますが、これらの具体的な職種は約百五十種類におよびます。

2,000人が鑑賞 県現代美術展・移動展

第7回県現代美術展覧会の移動展が11月24日から27日までの四日間、勤労者体育センターで開かれました。

この移動展は、優れた芸術作品を鑑賞し、県内の芸術文化への関心を高めていこうと59年から実施されているもので、本町開催は初めて。

今回展示されたのは、洋画83点、書93点。期間中町内外から約2,000人が訪れ、県内を代表する力作をじっくり鑑賞していました。



◀ スカット、さわやか おばあちゃん

美容サービス「はさみ荘」

波佐見町美容院組合では11月28日、特別養護老人ホーム「はさみ荘」を訪れ、入所している30人のおばあちゃんに、美容サービスを行いました。

町内16軒で組織している同組合。「地域に何か役に立つことを」と1年ほど前から休日にあたる月曜日を利用し、2カ月から2カ月半に一回の割り合いで同荘を訪れているもの。

50人の入所者のうち女性は30人。「きれいになって楽しいお正月を迎えてね」とパチパチ響くハサミの音も軽やか。

スカットとさわやか、おばあちゃんたちも終始ニコニコ顔でした。



親子読書のつどい＝波佐見町移動図書館 ▶

生涯学習活動の一環として町公民館の移動図書館「村木親子読書会」が、11月22日、同郷公民館で行われました。

読書の楽しさと読書習慣の大切さを再確認しようと開かれたもの。

本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアターなど盛りだくさんの内容に子どもたちの目も終始輝きっぱなしでした。

この日村木郷公民館では、約百冊の本を町公民館から借りて貸し出しを行いました。

今後も月に2回の貸し出しを行っていこうと大ハッスル。



◀ コンプラ瓶など展示

——長崎の陶磁展——

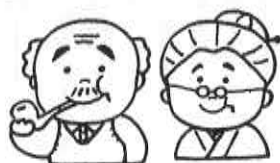
長崎の陶磁展が10月22日から11月27日まで、有田町の九州陶磁文化館で開かれ、県内の波佐見、三川内、長与、現川などから出品された約320点の古陶磁に、訪れる人たちは1点1点食い入るように見学。本町からは、17世紀から18世紀に作られたコンプラ瓶や牡丹文鉢、染付草文徳利など18点が出品されました。





生涯学習

講演会花盛り！



働く婦人の家主催の生活講座を11月15日夜と21日昼に町公民館と勤労福祉会館で開催しました。

15日には、「やさしい国際経済について」親和銀行調査課長の千田広志先生に、21日には、「老後の生活設計について」川棚町人権擁護員の田崎勇先生をまねき学習しました。

両会場とも40人余りの参加の中で熱心に受講していました。

十一月十二日は長崎県「のびのび少年デー」。市内の各学校でも元氣いっぱい、の歓声が響きわたりました。「のびのび少年デー」は、野外学習や社会参加活動などを通して、家庭・学校・地域が一体となり、ホットなふれあい、楽しい一日を過ごすそうと今年から実施されたものです。

本町では、東小で行進遠足、中央小で小学校祭り、南小（高学年）中学校（南地区生徒）波佐見高校の三校協同で、鴻ノ巣公園クリン作戦や特養「はさみ荘」の訪問清掃の後、小中高生入り混じっての綱引き大会が実施されました。



ホットな ふれあい展開

—のびのび少年デー—

それぞれ学校周辺のクリーン作戦や老人会婦人会育友会の指導の中、竹細工・お手玉づくりなどに挑戦しました。

午後からは、公共施設の無料開放がされ、体育センターではバドミントンに取りくむ人や町公民館の中を「のびのび少年デー」として、これからも多彩な催しが展開されることでした。

毎年十一月の第二土曜日を「のびのび少年デー」として、これからも多彩な催しが展開されることでした。

ジャイアンツ 三年ぶりV飾る

町軟式野球リーグ戦

六十三年度町軟式野球協会リーグ戦が十一月十三日最終戦を迎え、ジャイアンツ（松井和弘監督十四人）が九勝一敗で見事三年ぶり六回目の優勝を飾りました。

今年度で十七回目を迎えた同リーグ戦。町内の地区や職域などから十一チーム（二百十人）が加盟、野球を通じて相互の親睦と交流を深めています。

なお、同協会では審判部、

記録部などを設け、厳正な試合運営と年間のチーム・個人の戦績づくりにも力を入れています。チーム・個人表彰は表のとおりです。

来シーズン開幕式で行われる予定で、今季の各チームの戦績は別表のとおりです。

軟式野球リーグ戦結果

チーム名	試合回数	勝利	敗戦	引き分け	順位	勝率
ジャイアンツ	10	9	1	0	1	0.90
鴻ノ巣	9	8	2	0	2	0.80
センターズ	10	8	2	0	2	0.80
陶球	9	6	3	1	4	0.66
ホワイト	9	6	4	0	5	0.60
メッツ	9	4	5	1	6	0.44
コスモス	9	4	6	0	7	0.40
西海	9	3	6	1	8	0.33
中尾	10	2	7	1	9	0.22
井石	9	1	7	2	10	0.12
ロズ	9	0	8	2	11	0.00

気迫の戦い

展開

町少年剣道大会

気迫の戦い——町少年剣道大会が十一月十二日、勤労者体育センターで開かれ、ちびっ子剣士たち（総勢百十五名）のファイトあふれるつばぜり合いが展開されました。試合は四ブロックに分かれ、学年別の個人勝ち抜き戦が繰り広げられ、豆剣士たちの闘志むき出しの戦いぶりに、会場からは盛んな拍手が送られました。

結果は次のとおりです。

学年別入賞者
 〈小学生の部〉▼一・二年・優勝〓井石なつき、二位〓橋口文明、三位〓藤川幸造▼三年・優勝〓原昭太郎、二位〓浦野祥子、三位〓落合祐介、四位〓優勝〓峰浩二、二位〓松尾尚治、三位〓藤川知宏▼五年・優勝〓落合亮介、二位〓加藤省吾、三位〓水田智晃▼六年・優勝〓前田洋、二位〓楠本美穂、三位〓峰健一〈中学生の部〉▼一年・優勝〓石部秀幸、二位〓溝上修治、三位〓松尾住典▼二年・優勝〓福田啓孝、二位〓広田充孝、三位〓中本修二▼三年・優勝〓中山貴弘、二位〓松尾忠昭、三位〓橋口久也

1月22日～波佐見一周駅伝

大会運営にご協力を

第三十三回波佐見一周駅伝大会が六十四年一月二十二日（日）に開催されます。

午前九時十分から波佐見中学校にて開会式が行われ、十時に中学校前をスタート。七区間二十

九・八キロのコースで健脚が競われます。

レースは大会役員五十名、選手数二百余名で実施されますが、駅伝使用道路コースは道路幅が大変せまく、通行中の車輛や沿道の住民の方々にはご迷惑をおかけしますが、選手の方々の安全と事故防止のために次の点にご協力ください。

一、例年大会レースの前後は車輛が多く、身動きができません。特に渋滞します。レースを追い越す際の運転や、中継点附近の通過は特に危険なため、車で

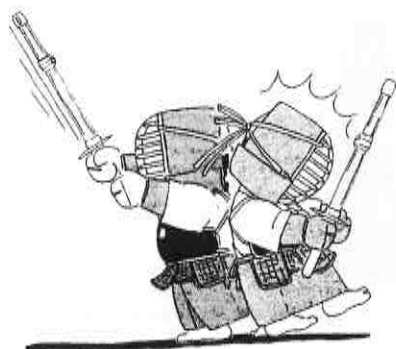
の移動応援や伴走はしないようにしてください。

絶対禁止となっています。緊急な場合を除いての車を利用するの諸所用はレースの時間帯をさけていただくようお願いいたします。

二、犬を飼っている家は、必ずつないでください。

三、レースが近づいてきたら車輛や応援者は係員の指示に従ってください。

四、中継地点では順位の確認や計時が行われますので、応援者は役員のじやまにならないようにお願いします。



シリーズ

私と生涯学習

その3

保ち続けたい

「心の花」

中村 正栄

(鬼木郷)



声をかけてくれる人もいて、
本当に嬉しく思います。

鬼木グラウンド入口には約百平方メートルの花壇があります。十数年前に町の花いっぱい運動が始まったのを機にわが鬼木老人クラブでも本格的に取り組むようになりました。

初夏から晩秋にかけてサルビア、マリーゴールド、アゲラタム、ケイトウなどが収穫を迎えた山里に、素晴らしい色どりを添え、また、冬から春にかけては、キンセンカ、デージー、パンジーなどが咲き誇り、私達に安らぎを与えてくれます。

時折、車を止めては花壇をじっとながめる人を見かけます。手入れをしている私達に

花づくりで一番注意するのは土づくり、連作のために土がやせてしまいます。土の入れ替えをしたり、堆肥をやったりしながら立派な土じょうの中の花を植えてやるのが大切です。また、病虫害に気をつけなければなりません。

夏の夜に花壇へ出かけて見れば、街灯に虫がいっぱい。昼はじっとしている虫たちも、夜になれば盛んに活動します。どんな虫がいるのか見分けながら駆除法を考えたり、土中のモグラの動きにも注視したりします。モグラも夜活動しトンネルをつくっていくんです。花壇の周囲に廃油をまいたり、風車を付けたり、臭いや音で退治しようと挑戦して

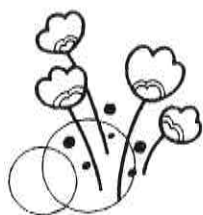
みましたが、効果もわずかの期間で、なかなかモグラも頭がよく、モグラと人間の智慧比べですよ。花づくりにもいろんな苦労がありますが、一カ月二カ月過ぎて、きれいに咲いた花々を見る時、本当に安らぎと満足感を覚えます。花を見て誰も怒る人はいないでしょう。

私の信条は「花を通じて和気合い合い」であり、いつまでも「心の花」を保ち続けたいと思っています。

長いようで短い人生——戦前戦後、そして今日までのさまざまな体験の中で、一番大切に思うことは「人と人の思いやり」であります。

家庭でも、職場でも、地域でも、お互いに助け合ってこそバラ色の世界が見えてくると信じます。

六人の子供を育てた私にとって、花づくりもことなく子育てと同じ感情が生まれます。これからも「心の花」で一步一歩生き抜いていきたいと思っています。



山林の間伐をしましょう！

山林は、手入れをしなければ良い木は育ちません。下刈り、枝打ちにしても、間伐はしていないという方が多いようです。

いま間伐をされると補助金がでます。対象となるのは、スギ、ヒノキの11年生から35年生の山林です。

間伐をされる方は、山の字地番、面積、および樹種と林齢を、役場農林課(TEL 85-2111)または、東彼杵郡森林組合(TEL 82-3525)までご連絡ください。



町の事業

工事

十一月に実施された町の工事発注状況をお知らせします。

〈建設課関係〉

▼血山長野線道路改良工事

一、五六〇万円

小佐々建設

▼山崎線特種改良一種工事

二、七九〇万円

山口建設

〈農林課関係〉

▼鬼木地区団体営農道整備

二、七四〇万円

山口組

〈水道課関係〉

▼藤ノ川線配水管布設工事

二〇〇万円

小佐々建設

▼江良山・山崎線配水管布設工事

二〇〇万円

百武建設

▼山崎線配水管布設工事

四三〇万円

小佐々建設



子供の看病に

見られる思い違い

東彼医師会 宮田 進 (川棚町)



私たちの願いは、何といつても健康です。でも、ちょっとした油断でいろんな病氣やけがに見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病氣やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

困ったものです。解熱剤は、ひきつけ体質の子供などを除き、使い過ぎは病氣の評価を誤らせ危険です。

(2) 熱性痙攣は殆どが病初期の体温急上昇時に起こる為、ひきつけるまで発熱に気付かない事もあります。ひきつけたら「舌を噛まないように、口の中へ何か押し込んで」と言う人がいますが、これは間違いです。スプーンや箸で口の中を傷つけるし、無理に押し込むと窒息させてしまいます。

(1) 一般に三十九℃以上の発熱を高熱といいますが、その多くはあまり心配ないのですが、熱のみに気をとられ、一番大切な全身状態の評価を忘れてはなりません。熱が高いと「脳がやられる」と思っている人いますが、これは心配のしすぎです。熱が病氣の回復につれて下がる時や解熱剤を使つて強制的に熱を下げる時などに汗が出ますが、これを「汗をかかせれば熱が下がる」と誤って思いこみ、高い熱があるのに厚着させて、より一層苦しませている人がいるのは

苦しませている人がいるのは、かかって何回にも分けて服用

さては効果はありません。また、普通の薬はミルク・ジュースなどに混ぜても構いません。「薬は食後に飲まなければ胃に悪い」と信じている人がいます。確かに胃腸障害を起す薬はありますが、幸い小児科ではこの種の薬を使用する事が殆どありません。子供に与える薬は食前で良いのです。薬を服用させた後、水分を与えてもらえば、食事時でなくとも結構です。

(4) 病氣の子供を入浴させるかどうか、診察の後で良く質問されます。発熱時や、熱は無くても元気がなく機嫌が悪い時などはひかえたほうが良いでしょう。勿論、咳が長く続いていたり、喘息の発作が

出ている時の入浴はいけません。ここで言う「入浴」とは、日本式の風呂ですが、「よく温まらなければ」と熱いお湯の中で長く我慢させて、わざわざ疲労させている事がある様です。疲労させず、清潔にして気分を良くしてあげる為に、東彼医師会 川棚町 宮田進

野菜のお話

(その5)

「体の内側から、きれいに」

卵、魚、肉では、ほとんどとれなくて、野菜類に非常に多いのが、セニイ質です。消化されにくく体外に排泄されるセニイ質も、私たちの健康を維持するため、大切な働きをしています。どんな野菜にも含まれ、煮ても、そんなわれず、柔らかく食べやすくなります。セニイ質は腸内でかさばるため、腸のカベを刺激して、腸の動きを活発にします。したがって便秘をふせぐことにも、役立ちます。また、セニイ質には吸着作用もあり、腸内の有害物質もセニイ質の中にドンドンとりこんで排泄してくれます。もう一つ、セニイ質のかさば



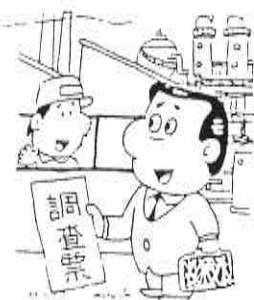
ひろば

の方は役場
お知らせください。



歳末たすけあい運動
(12月1日～31日)

工業統計調査は、国の指定統計調査として、通商産業省が毎年実施しているものです。調査の対象 陶磁器・食料品・繊維などの製造業を営む事業所。



工業統計調査 にご協力を

調査基準日

六十三年十二月三十一日

現在

調査事項 経営組織・給与額・原材料使用額・製造品の出荷額などです。

調査員が各事業所に伺いますので、みなさんのご協力をお願いします。

年末年始の ごみ・し尿業務

年末・年始のごみ収集及びし尿汲取をしない期間は、次のとおりです。

燃えるごみ(可燃物) 十二月三十一日から一月三日まで

日まで

燃えないごみ(不燃物) 十二月二十九日から一月三日まで

日まで

し尿汲取 十二月二十九日から一月三日まで

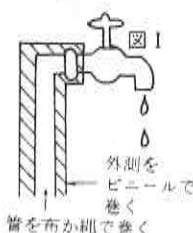
日まで

年末の大掃除等のごみは出来るだけ早めに、年始のごみは四日以降の予定日に出して集積場所に置きっぱなしにしないようご協力をお願いします。

東彼地区保健福祉組合
(82) 4265



カン割れ に“注意”



今年も寒波のしゅう来が予想されます。お宅の水道管の保温工事はお済みですか。水道管がむきだしになったり、北風にさらされる所は必ず保護しましょう。保護の方法としては図Iのように、

- 一、管を布か縄で巻くなど、カン割れにご注意ください。もしカン割れした場合は、別表のそれぞれの各地区の担当店へご連絡ください。
- 二、水道メーターの検針でお願い。水道メーターの近くに犬をつながないでください。(カミつく恐れがあります)
- 三、メーター器の上に物を置かないでください。
- 四、メーター器の上に泥がたまっている所があります。ときどき取り除いてもらえれば助かります。

水道管の保護を

カン割れ修理担当工事店

地区名	項目	(正)	TEL	(副)	TEL
中尾郷		(有)本岡商店	85-2007	(有)百武建設	85-2242
三股郷		(有)百武建設	85-2242	(有)本岡商店	85-2007
永尾郷		(有)百武建設	"	(有)本岡商店	"
小樽郷		(有)百武建設	"	(有)本岡商店	"
野々川郷		上川建設	85-3697	(有)波佐見電設	85-2329
湯無田郷		(有)百武建設	85-2242	(有)波佐見電設	"
井石郷		(有)本岡商店	85-2007	波佐見建材店	85-2135
鬼木郷		(有)波佐見電設	85-2329	(有)百武建設	85-2242
金屋郷		(有)小佐々建設	85-2506	(有)松田建材店	85-3312
折敷瀬郷		波佐見建材店	85-2135	(有)小佐々建設	85-2506
宿郷		(有)松田建材店	85-3312	(有)小佐々建設	"
村木郷		(有)波佐見電設	85-2329	(有)小佐々建設	"
皿山郷		(有)小佐々建設	85-2506	上山建設	85-3697
樺木場郷		(有)波佐見電設	85-2329	(有)小佐々建設	85-2506
田頭郷		(有)小佐々建設	85-2506	波佐見建材店	85-2135
川内郷		(有)小佐々建設	"	上山建設	85-3697
岳辺田郷		銀杏屋	85-2025	(有)堀池電器	85-3236
甲長野郷		中尾建設	85-5300	(有)堀池電器	"
乙長野郷		中尾建設	"	銀杏屋	85-2025
協和郷		(有)堀池電器	85-3236	銀杏屋	"
志折郷		(有)堀池電器	"	中尾建設	85-5300
平野郷		銀杏屋	85-2025	中尾建設	"

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで

対応できる商品づくりを目指して、優れたパッケージデザインを募集します。

主催 県・県デザイン振興会

募集内容 長崎の特産物を包む箱・ボトル・包装紙などのパッケージデザイン

オリジナル作品と既存商品の二部門

作品の大きさ

平面作品はB全判以内

立体作品は縦・横・高さ五〇センチ以内

応募資格 応募点数

特に制限はありません。

賞 大賞一点(三〇万円)

優秀賞二点(五万円)など

応募方法 住所・年齢・職業・作品コンセプト(説明)

を明記 長崎県物産振興協会

「デザインコンペ係」長崎市

大黒町三― 交通産業ビル

(二階)まで



長崎デザイン

コンペ

個性的なデザインを創造し、消費者の多様化したニーズに

—最低賃金改正—

1 日 3,424円

1 時間 428円

県内で働くすべての労働者に適用される「長崎県最低賃金」が10月21日から改正されました。

1日=3,424円

ただし、時間給で支払われる労働者については、1時間=428円

なお、窯業・食料品製造・卸売・小売業など8業種については、別に産業別最低賃金がそれぞれ定められており、現在長崎地方最低賃金審議会にて審議が行われています。

詳しくは、長崎労働基準局賃金課(☎0958-46-6343番)へおたずねください。

▼応募期限 六十四年一月三十一日必着

詳しくは県物産振興課(☎〇九五八―二四―一―一―番内線二六六一番)へおたずねください。

看護学生

長崎県立佐世保看護学校では、次のとおり昭和六十四年度の学生を募集します。

一、募集人員 一学年三〇名

二、修業年限 三カ年

三、受験資格

(一)准看護婦(士)の免許を得た後、三年以上准看護婦(士)の業務に従事している者

(二)高等学校を卒業している准看護婦(士)(昭和六十四年三月末日までに高等学校卒業見込及び准看護婦免許取得見込の者を含む)

四、願書受付

(一)期間 昭和六十四年二月四日から二十日まで

(二)提出先 佐世保市平瀬町三番地一 長崎県立佐世保看護学校

※詳しいことは、役場保健衛生課へおたずねください。

公給領収証を

受け取りましょう!

料理飲食等消費税は、レストラン、スナック、料理店、旅館などを利用して、飲食で1人2,500円、宿泊で1人5,000円を超えたときに(料理店等ではすべてに)料金の10%がかかります。

公給領収証はそのときに交付が義務づけられている領収証です。受け取ることによって皆さんが税金を支払われたことが分かり、支払われた税金が確実に県に納められることになります。公給領収証は必ず受け取りましょう。

詳しくは佐世保県税事務所(☎25-5031番)へおたずねください。

お気軽に

ご参加ください

パソコン研究会

再々募集

只今パソコン研究会では、人数が不足し活動ができない状態です。

活動開始を来年四月を予定しています。パソコンの機種は問いません。これから購入しようという方でも大歓迎です。お気軽にご参加ください。

まず、入会するしないは別として、案内状を送りますのでご連絡ください。

▼連絡先 湯無田郷一〇五六 武村澄樹(☎八五―三〇七〇番・夜間専用)

10月1日から「長崎雇用促進センター」オープン

〈主な業務〉

↓従業員の採用

から退職までの

雇用管理や能力

開発関係の相

談・援助

◎勤労者・求職

者の方々の就職

にあたっての相

談・援助

◎従業員用社

宅・福祉施設に

ついての融資相

談など

詳しくは、雇

用促進センタ―

(☎〇九五八―

二―一八―一―番)へおたずね

